

# 岡山市



「退院したい！」  
「退院できる！」  
を目指して。。。

## 退院意欲が低い患者との協働

岡山市では・・・

こころの健康センター職員が、精神科病院入院中の患者（生活保護受給者、市長同意入院者）に会いに行き、院内面接し、退院に対する意向や希望を訊いたり、病状を確認し、退院に向けて支援しています。また、病院あるいは病棟スタッフをはじめ地域支援者の人材育成の取り組みを進めています。

1 岡山市の基礎情報

H27年10月時点

岡山市



取組内容

【人材育成の取り組み】

こころの健康センターの取り組み

- 病院職員向けの研修
  - 介護保険事業所に向けた研修
  - 地域包括支援センターに向けた研修
  - 保健所・保健センターに向けた研修
- 自立支援協議会主催
- 地域の社会資源などへの研修会の実施

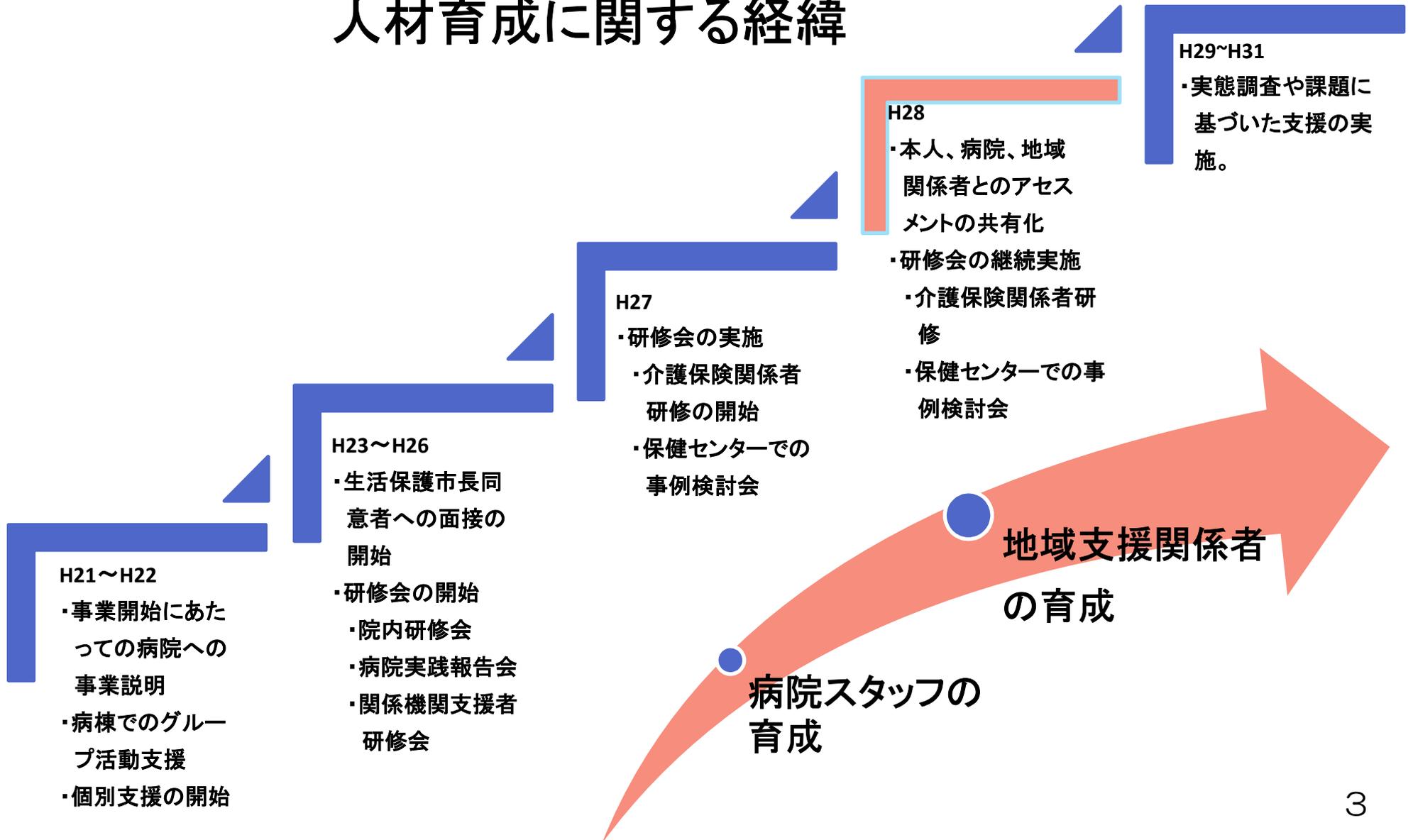
【精神障害者の地域移行の取り組み】

- 福祉サービスによる地域移行支援の促進
- 福祉サービスにのりにくい事例への退院支援の取り組み

基本情報

圏域数	1カ所
人口	716,411人
精神科病院の数	8病院
精神科病床数	2,796床
入院精神障害者数	3か月未満： 568人 (25.8%)
	3か月以上1年未満： 399人 (18.1%)
	1年以上： 1,234人 (56.1%)
退院率	入院後3か月時点： 72.3%
	入院後1年時点： 22.7%
相談支援事業所数	一般相談事業所数： 20ヶ所
	特定相談事業所数： 38ヶ所
障害福祉サービスの利用状況	地域移行支援サービス： 4人 (H26年度)
	地域定着支援サービス： 23人 (H26年度)
保健所	1カ所 (6保健センター)
自立支援協議会	(人材育成について議論)： 専門部会 なし (活動頻度)： 一回/年
	(精神障害者の地域移行について議論) ： 専門部会 なし (活動頻度)： 一回/年
精神保健福祉審議会	

## 人材育成に関する経緯



## 2 岡山市県としての精神障害者の地域移行推進のための人材育成の取り組みの経緯 2

年度	実施回数	対象	内容	参加者数
H22年	2回	・精神科病院職員	地域移行に関する院内研修会	95名
H23年	2回	・精神科病院職員 ・地域支援関係者	・入院中から地域での生活をイメージするために ・障害者が安心して生活するために	177名
H25年	1回	・精神科病院職員 ・地域支援関係者	・今後の退院支援について考える	81名
H26年	3回	・精神科病院職員 ・地域支援関係者	・精神障害者の日常生活について ・これからの退院支援 ～病院と地域のつながりを考える～ ・地域で精神障害者が安心していくために	235名
H27年	12回	・精神科病院職員 ・地域支援関係者 ・介護保険事業者	・精神疾患の基礎知識の研修。(5回) ・退院支援の実践報告会(1回) ・保健センター対象の事例検討会など(5回) ・行政職員に対する研修会(1回)	557名

### 3 岡山市の精神障害者の地域移行の取り組みの経緯 1

- 岡山市は保健所が中心となり平成18年度から岡山県と協力して地域移行 支援事業を実施していた。

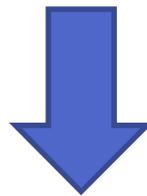
・事業の対象者となる人は病院から支援依頼があった入院患者が中心で  
「受け入れ条件が整えば退院可能な入院患者」

具体的には・・・

◎「本人に退院の意思がある人」

◎「病院が退院可能と考える人」

が支援対象となりがち。



- ・平成21年4月当センターの設置により、市独自の事業のすすめ方について見直し検討を行った。

## 検討時見えてきた課題

- 病院から支援対象者がなかなか挙がってこない。
- 本人自身も退院意欲低い。
- 相談支援事業所に対する地域のニーズが多様化しており、役割の明確化や人材育成を進めていく必要がある。
- 患者の退院について病院内部でも支援に関する意識の温度差がある。また、病院と地域にも支援の温度差がある。

## 支援対象者の見直し

### (見直し前)

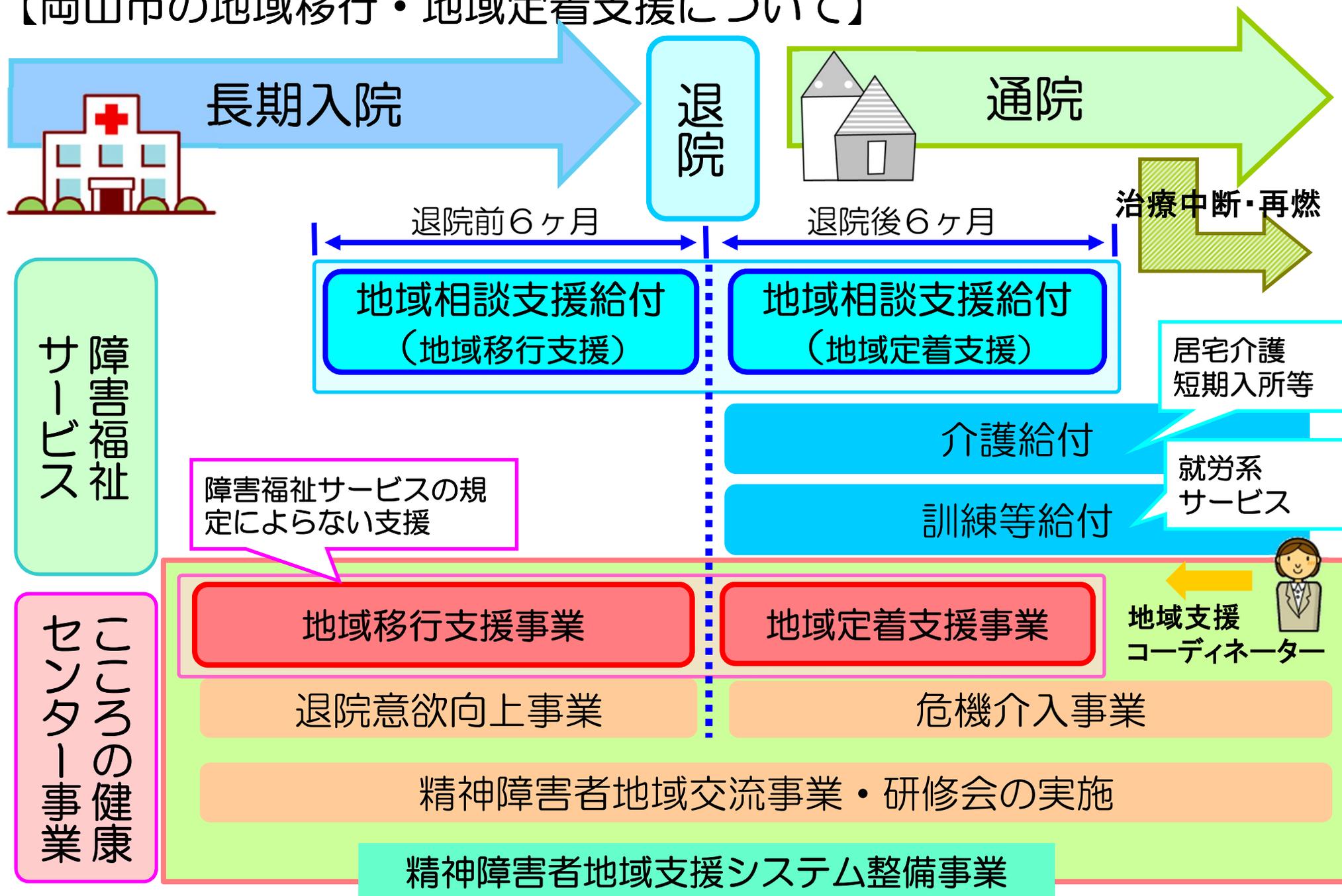
- 本人に退院の意思がある人
- 病院が退院可能と考える人



### (見直し後)

- 退院する意欲を持たない入院患者
- 環境要因などにより病院が難しいと考えている入院患者

# 【岡山市の地域移行・地域定着支援について】



うちの自慢はココ！

## 病棟全体への働きかけ

- 病棟のグループ活動への支援
- 病院スタッフ対象の退院支援研修会

## 個別の患者への働きかけ

- 生活保護受給者・市長同意者への面接

3-2 岡山市こころの健康センターの取り組み 2

病棟内でのピアサポーター交流会

(入院患者さん)

「退院する」というプレッシャーもあるけど、  
どんなところに退院したらいいのかわからない不安がある。

(入院患者さん)

交流会でピアサポーターの話を知ると地域の生活が分かって少し安心する。

(病棟スタッフ)

退院後の病状も心配だけどピアサポートの人たちの話で地域で生活する患者さんのイメージが持てました。

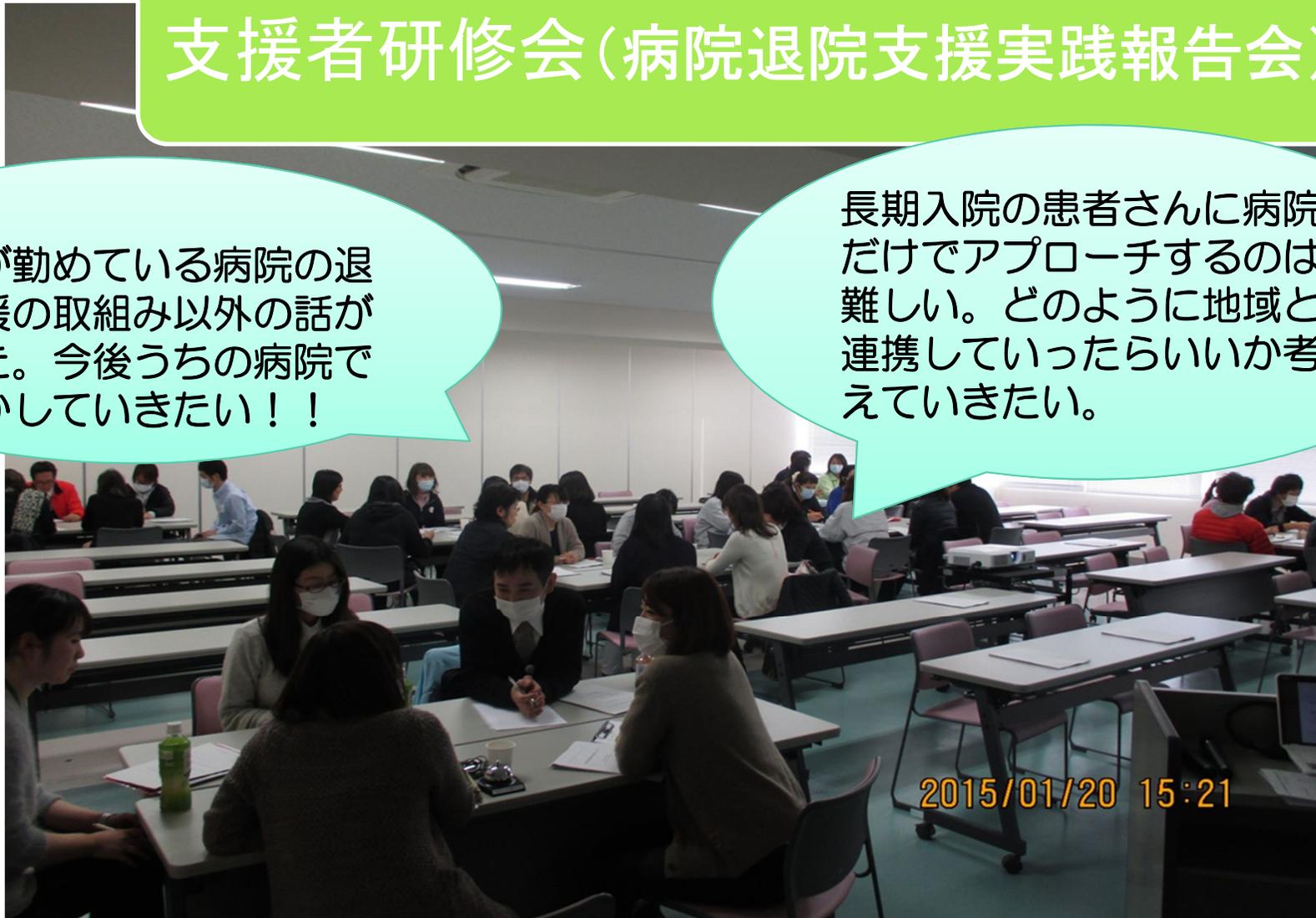


3-2 岡山市こころの健康センターの取り組み 3

支援者研修会（病院退院支援実践報告会）

自分が勤めている病院の退院支援の取組み以外の話が聞けた。今後うちの病院でも生かしていきたい！！

長期入院の患者さんに病院だけでアプローチするのは難しい。どのように地域と連携していったらいいか考えていきたい。



2015/01/20 15:21

## 支援者研修会(介護保険事業者向け)

統合失調症という病気を初めて聞きました。事例を通して勉強になった。

日頃対応している方たちは認知症の人が多。気難しい人もいて性格か病気か判断がつかない。

ホームヘルプサービスで家に行くと、最初はニコニコしていたのに急に怒り出したりする。対応はどうしたらいいの？・・・。

2015/09/15 15:39



## 長期入院患者への院内面接

こころの健康センター  
職員

(患者さん)  
長くこの病院にいる  
から、退院するのは  
怖いなあ。色々大変  
そうだし……。

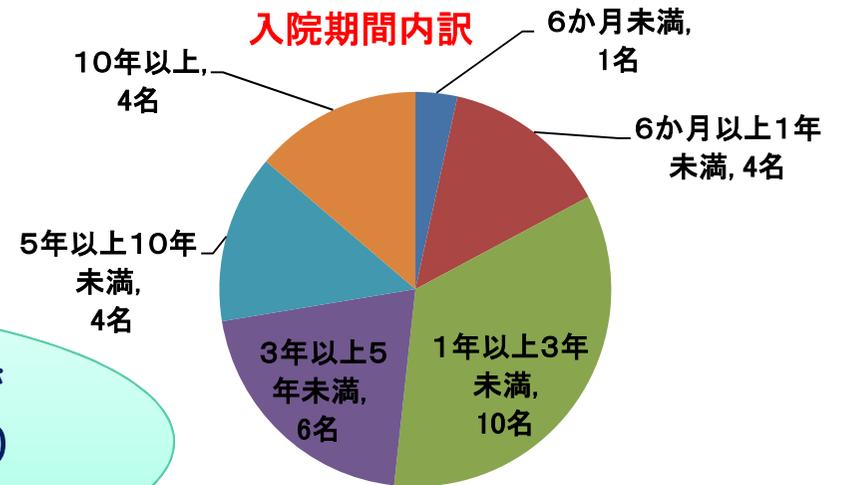
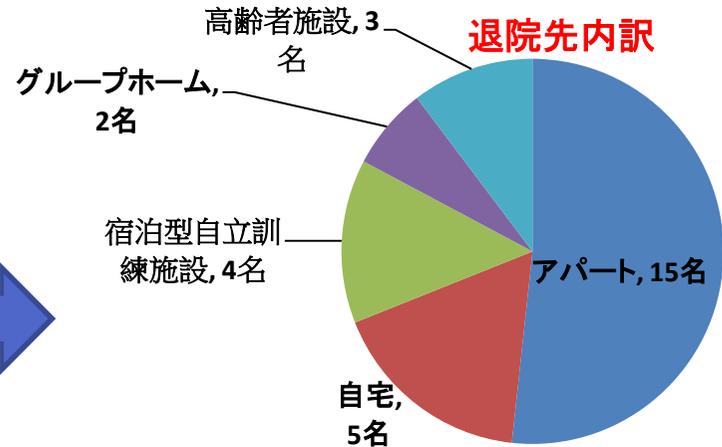
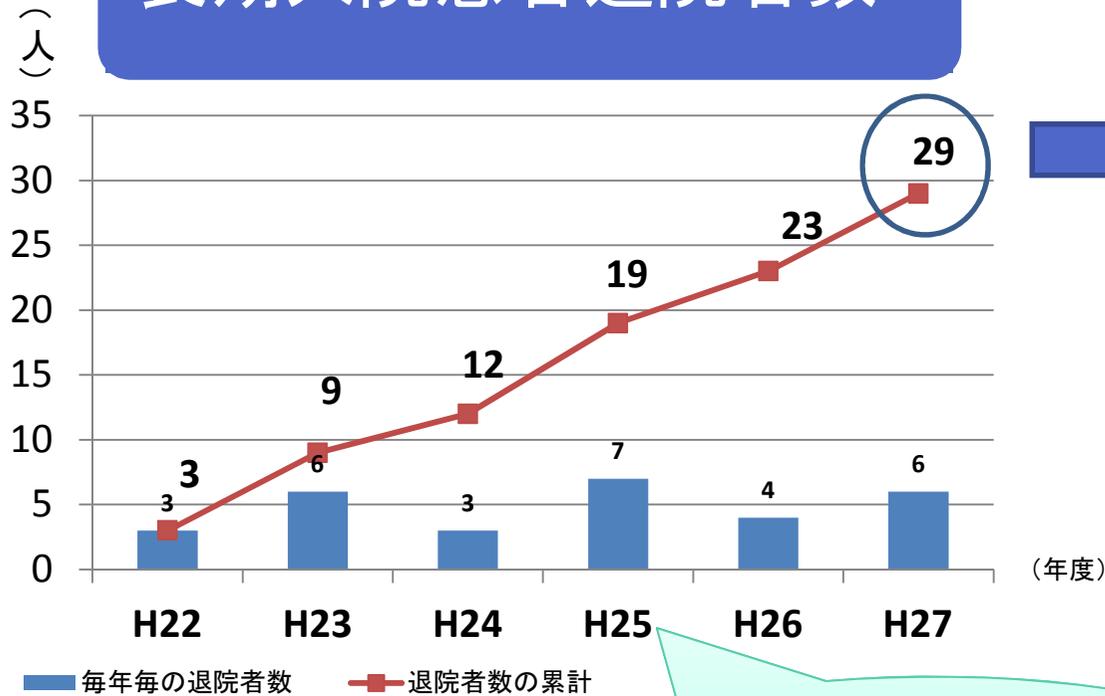
(病院スタッフ)  
患者さんは病院スタッフ  
には日頃話してくれない  
気持ちや感情をセンター  
の方には話せている  
なあ。

2016/02/12



3-2 岡山市こころの健康センターの取り組みの実績

長期入院患者退院者数



H22~H27年の6年間で  
29人の患者が支援により  
退院 ※H27年は見込み者含む

## 4 岡山市としての来年度への抱負

### 地域移行推進のための人材育成について

- 人材育成について、今年度と同様、精神科病院及び受け皿の地域の社会資への働きかけを継続していく。  
また、長期入院した患者が介護保険を利用することも想定されるため、介護保険事業者への働きかけを昨年度と同様実施していく

### 保健所・保健センターとの連携について

- 退院した患者が、地域生活で危機的な状況に陥らないように、保健所・保健センターと連携し、地域生活への移行がスムーズにできるよう体制整備を行う。
- また、アセスメント力や支援力を高めるため、事例検討を中心とした研修を継続的に開催していく。

### 地域移行の推進について

- 現在の体制（福祉サービスの利用とこころの健康センター事業）を継続し、  
より一層長期入院者の退院支援を進めていく。
- そのためには、病院及び関係機関の人材育成と連携を推進する。

## 5 次年度の戦略

### 長期目標

- ・ 長期入院精神障害者の退院支援及び地域生活のための支援体制の整備

### 短期（次年度）目標

- ・ 本人、病院、地域関係者とのアセスメントの共有方法の検討
- ・ 体制整備に向けた人材育成
- ・ 退院に関する意識調査の実施

### 目標達成のためのスケジュール

時期	担当	実施内容
5月～7月 8月～10月	こころの健康センター	本人、病院、地域関係者の意識調査 調査の分析、まとめ
8月～12月	”	病院と協働したアセスメント方法の検討（アセスメントシートの作成等）
8月～12月	”	研修会の企画、実施
7月～2月	岡山市保健所	自立支援協議会による精神保健に関する研修会の実施